倉田式経管投薬法に使用する器具の説明

60mL水剤瓶(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｷｬｯﾌﾟ付き)⇒薬剤の崩壊・懸濁用



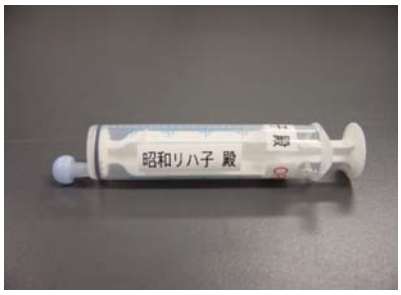


100mL水剤瓶(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｷｬｯﾌﾟ付き)⇒ﾌﾗｯｼｭ用





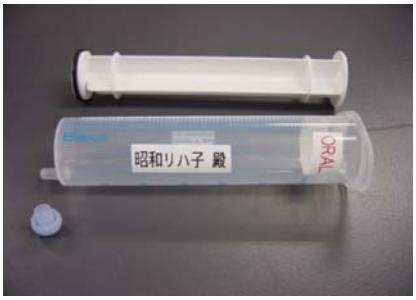
20mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰ





60mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰ

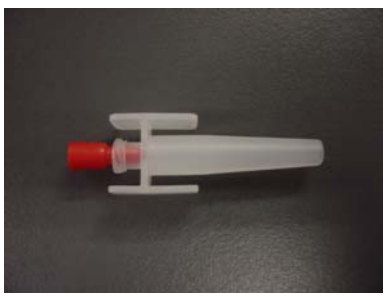




ﾙｱｰｽﾄｯﾌﾟｺｯｸｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ



ﾙｱﾛｯｸｶﾃｰﾃﾙﾁｯﾌﾟｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ
NGﾁｭｰﾌﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ結合体



必要器具

	投与法①	投与法②	投与法③
60mL水剤瓶(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｷｬｯﾌﾟ付き)	○		
100mL水剤瓶 (ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｷｬｯﾌﾟ付き)	○	○	
20mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰ	○		
60mLｵｰﾗﾙﾃﾞｨｽﾍﾟﾝｻｰ		○	
三方活栓	○	○	

投与法③は汚染をせずに薬剤を崩壊･懸濁できるも容器であれば何でも使用可能です

お問い合わせ・・・
お問い合わせ等ございましたら、
お電話ください。

参考文献・・・
倉田なおみ;医療薬学,17(5):561-472,2001
藤島一郎(監修)倉田なおみ(執筆):内服薬 経管投与ハンドブック じほう 2001
筒井廣明(監修),倉田なおみ(編集):リハビリテーション領域の薬学ケア,月刊薬事,じほう,Vol.46 No.4 2004